



## 大崎平野の大地が育む沼木頼歩の米と野菜

# 農事組合法人 沼木頼歩

ぬまぎらいふ

## 経営理念

沼木頼歩は宮城県大崎市田尻にある沼木という集落にあり、組合員が一致団結し築く信頼の「頼」、皆で一歩一歩努力していく歩みの「歩」、そして農産物を通じた生活を意識し、英語の「LIFE」をraifuと掛けて沼木頼歩となりました。「東北新幹線を望む大崎の広大な大地が育んだ沼木頼歩の米と野菜」をキャッチフレーズに、大崎の肥沃な耕土と化女沼・田尻川からの豊かな水に恵まれた土地で自然との共存共栄を図りつつ、減農薬・減化学肥料に取り組む「エコファーマー」として、安心・安全な農産物を提供します。

## 1 経営内容

### (1) 栽培技術の特長

- 沼木頼歩は集落1農場でほぼ100%の農地が集約され、作業の効率化及び合理化が進められている。
- 飼料用米は低コスト化のため、全て鉄コーティング処理による湛水直播を実施。
- 食用米でも、湛水直播を模索しており、平成24年度は9haで湛水直播を実施。
- 食用米は、「自然環境共生米」として、減農薬減化学肥料栽培を行っている。
- とうもろこし収穫後、キャベツの栽培を行っており、とうもろこしの茎は鋤込むことにより、ほ場の排水を改善している。

### (2) 販売の特長

- 食用米の生産量のほとんどは、卸業者との直接取引を行っている。
- 飼料用米はJAに出荷。
- とうもろこしは、期間限定の自社での直売を実施。
- キャベツは、卸業者を仲介し、スーパーへ出荷。

### (3) 経営組織の特長

構成員はほぼ兼業農家で、その様々な職種によって得た経験を生かした農業と、担い手が退職者中心であることが沼木頼歩の要となっている。

### (4) 労務管理の特長

- 出役希望日を確認した上で作業編成を行い、出役者が偏らないようにしている。
- 出役管理はタイムカードを活用。

### (5) 経営管理の特長

3名の担当理事が、6部会（機械、水稻、転作、野菜、経理、企画）をまとめており、実際の農作業等については、各部会の部長と副部長が中心となって行っている。

原則、毎月の全体会を行い、情報共有を行っている。（農繁期には、2～3回/月。）

### (6) その他の特長

沼木頼歩では、沼木集落が取り組んでいる平成19年からの「農地・水・環境保全向上対策(共同活動・営農支援)」に参加しており、環境に優しい農業に取り組み、エコファーマー制度を活用して自然環境共生米の販売を行うとともに地域の美化運動に貢献している。

また、稲わらと畜ふん堆肥の交換を行うなど、耕畜連携にも取り組んでいる。

## 2 これまでの経過

### (1) 法人化するまでの特徴的な取り組み

- 平成14年 「沼木水稻生産組合」設立。担い手を中心に大豆と水稻の作業受託に取組む。集落営農設立準備委員会を立ち上げ。
- 平成16年 ほ場整備事業開始。米政策改革大綱田尻水田ビジョン、ほ場整備による担い手育成農地集積事業及び高生産性農業集積促進事業の全てを100%達成する。
- 平成17年 集落型経営体の「集落営農沼木生産組合」として、活動が本格化。
- 平成18年 ほ場整備工事完了。総会で法人化に向けた提案を可決
- 平成19年 「大崎市沼木地区農用地利用改善組合」設立。農地・水・環境保全向上対策事業に取り組む
- 平成20年 農事組合法人「沼木頼歩」設立。大崎市認定

## プロフィール

(農業地帯) 平地農業地域 (組織形態) ぐるみ型 (エリア) 1集落 (農地集積率) ほぼ100%

### 経営概要

水稻 28ha (9haは鉄コーティングによる湛水直播:H24)  
飼料用米 12ha (鉄コーティングによる湛水直播)  
野菜畑 1ha (キャベツ、とうもろこし)

### 主な施設・機械の保有

- ライスセンター (194㎡)
- トラクタ2台 (76PS・64ps)
- 田植機1台 (8条植え 多目的田植機)
- 自脱型コンバイン1台 (6条刈り)
- 穀物乾燥機4基 (60石(遠赤外線)・45・40・32石)
- 糶摺機1台 (5インチ)
- フレコン計量機1台(2.1t) ・光選別機1台 等

### 構成員等

構成員37名、常時雇用2名、パート10名

法人設立年月日	平成20年4月28日
認定農業者認定年月日	平成20年6月27日
出資金	406万円 (1口当たり1万円)
販売額	約3,500万円 (平成23年度)

### 役員名

- 代表理事 高泉 幸喜
- 専務理事 武田 政美
- 理事(経理・企画担当) 高泉 正義
- 理事(機械・水稻担当) 大友 信一
- 理事(転作・野菜担当) 千葉 茂広
- 監事 尾崎 秀俊
- 監事 富澤 修

### 所在地

〒989-4417 大崎市田尻沼木字西田1番地  
TEL.0229-39-3315 FAX.0229-39-3255

### 主な過去の導入事業及び農業制度資金活用

- 強い農業づくり交付金 (産地競争力の強化) (H20)
- 集落営農法人化等緊急整備推進事業 (H21)
- 東日本大震災農業生産対策交付金 (H23)
- 農業経営基盤強化資金(H23)

- 農業者に認定。
- 平成21年 エコファーマーの認定を受ける

### (2) 法人化の動機や法人設立時の特徴的経過、法人化後の変化

- 平成11年頃から、地域の農業生産をみんなでやれる方法がないか模索を始めた。
- 基盤整備により、受委託が盛んになったが、「集落内で受委託を完結しなければ」「退職後は自分たちの集落は自分たちで守りたい」という気運が高まった。
- 「地域の特色を生かした取り組みを」との意見により、農業機械の共有化の方針。
- 平成17年の「集落営農 沼木生産組合」の設立により、「沼木頼歩」の原形が誕生し、翌年には、法人化に向けた提案が可決されたが、法人化に反対する人がいて設立が進まず、原点に戻って、法人化のメリット・デメリット等の勉強会と話し合いを行った。
- 平成19年には、数名の反対者がいても決断の時期と判断し、総会で法人設立について提案したところ、反対していた人も賛成、組合員37名により、平成20年4月28日に「農事組合法人 沼木頼歩」が設立された。
- 法人設立により組合員全員が担い手となり、社会で得た知識・技術及び教養等を「沼木頼歩」に十分発揮してもらい、生産性及びコスト面での効率化を図り、共同利益を増進することによって地域づくりを推進していく。

## 3 今後に向けて

### (1) 解決すべき課題と現在検討中の対処方策

- 水稻の湛水直播栽培技術の向上。
- 冬季の農閑期にも雇用を継続できるよう、育苗ハウスを活用した野菜栽培の検討。

### (2) 今後に向けての経営戦略

- 農産物の直売やネット販売など、新たな販路の開拓。
- 安全・安心な農産物の供給。
- 婦人部の設立と後継者の育成。

(調査: 美里農業改良普及センター)

### ホームページ

<http://www.numagi-raifu.jp>

### E-mailアドレス

ホームページの「お問い合わせ」からお願いします。



## 視察受入条件

- 農繁期は不可
- 視察申込は直接当社へ
- 常識的範囲の依頼に対応